

2/10

ひな人形で華やかに 春が到来

～みどり蒼生館で「ひなまつり」～

▶一足早く訪れた春。来館した人も楽しんで記念の一枚を撮影しました。



みどり蒼生館でひなまつりが開催されました。みどり蒼生館のスタッフなどが準備した色鮮やかなひな飾りや手作りのさげもんなど、ひなまつりにちなんだ展示を華やかに飾り付けました。その他IH調理器で作った料理の試食や太陽光パネルなどの展示、施設利用者の協力による子どもたちの絵も飾られました。

豚汁などの販売や子ども・お楽しみくじなども実施され、親子連れなど多くの来館者が、ひなまつりを楽しんでいました。

2/14

ラジオで全世界へ荒尾を発信!

～NHKラジオ「旅するラジオ」生放送～

▶炭鉱で働いていた時の話を臨場感たっぷり話す堀内さん



NHKラジオ「旅するラジオ」は、万田坑ステーションで12時30分から生中継で放送され、およそ70人が観覧に訪れました。NHK熊本放送局の黒氏康博さんの司会により、万田坑、荒尾干潟と渡り鳥や特産品などについて、万田坑ガイドの堀内敏彦さん、日本野鳥の会の安尾征三郎さんや市職員などが出演し、PRしました。

後日、東京在住の男性から市役所に「ラジオを聴いて昔住んでいたあらおが懐かしくなりました」という反響も寄せられました。

2/22

地域の課題を共有しました

～万田地区で「市長とまちづくりトーク」～

▶市長を囲み、万田地区の課題についてたくさん意見が出ました。



市長が地域の皆さんと身近に語り合い、市政への意見や提言をいただく「市長とまちづくりトーク」をメディア交流館で開催しました。

市長が荒尾市の概況を説明した後、地区からさまざまな意見が寄せられました。

競馬場跡地の活用、有明海沿岸道路の延伸や四山公園トイレのことなど、地域に密着した質問や意見が多く出され、今後のまちづくりへの有意義な時間を過ごすことができました。今後のまちづくりに生かしていきます。

2/23

荒尾市の偉人・宮崎兄弟を学ぼう

～モニターツアー 宮崎家ゆかりの地を巡る～

▶高木元右衛門像前(菊池市)で記念撮影。42人の参加がありました。



荒尾市の偉人・宮崎兄弟を多くの人に知ってもらおうと、モニターツアーを行いました。2回目の今回は、宮崎兄弟の生家施設他、父・長蔵が奉納した市内境崎観音堂の石灯籠、一時期宮崎家の養子となった高木元右衛門の銅像がある菊池市や、八郎たちが組織した熊本民権党の決起集会があった光専寺がある山鹿市など、宮崎家ゆかりの地を見学しました。参加者は現地で荒尾市文化財保護委員や現地ガイドから説明を聞き、宮崎兄弟について理解を深めました。

2/17

練習してきた合唱を高らかに

～平成24年度荒尾市子ども会大会～

▶子ども会大会のために、歌に合わせて振り付けも練習しました。



荒尾市子ども会大会は文化センターで開催され、およそ300人が参加しました。大和・新生西・一紡区子ども会と水島・高浜子ども会による合唱、荒尾市応援隊長の西村赤音さんとマジックキーによるビンゴゲームや市内読み聞かせボランティアによるアトラクションなどが行われました。また、20年以上活動を続けている子ども会として高浜子ども会と新生西子ども会が表彰されたり、荒尾市子ども会連合会発足から50周年記念誌が来場者に配布されたりしました。

2/19

PTAのキャリア教育が高い評価

～緑ヶ丘小学校PTAが文部科学大臣表彰～

▶3/15、緑ヶ丘小PTAの(右から)永尾校長、柴田会計と大垣内会長(左端)が前畑市長に報告しました。



緑ヶ丘小学校PTAが行っている活動が認められ、キャリア教育優良団体として、文部科学大臣表彰を受けました。キャリア教育とは、経験を生かして職業について考えることを目的に行われる教育です。

緑ヶ丘小PTAでは、親子研修会「うきうき♡わくわくお仕事体験」を企画し、子どもたちが保護者や地域の専門職の人を通じて、10種類の職種を体験。このことが、将来につながる取り組みであると高く評価されました。



100歳 おめでとうございます!



嶋村スエコさん(松葉)

2月21日に100歳の誕生日を迎えられました。親戚や近所の人とともに、楽しい一日を過ごした嶋村さんは、花を育てるのが好きです。とても明るい性格で、近所の人がよく話をしに訪れるそうです。長生きの秘けつは「食べ物の好き嫌いがないうこと」だそうです。



高田アイコさん(桜山町4丁目)

3月10日に100歳の誕生日を迎えられました。親戚と楽しいひとときを過ごしました。農業をしながら子育て、親の介護などをしてきた高田さんは、楽しく穏やかな日々を過ごしています。長生きの秘けつは「畑仕事をしてきたこと」ということです。